

令和6年度 周産期医療ネットワークグループ事業の取組状況

参考資料4

○ 連携会議の開催状況：令和6年度はネットワークグループ8カ所及び多摩サブグループ6カ所でWEB・対面による連携会議等を実施した。
○ 連携会議の議題：ブロックにより異なるが、周産期母子医療センター、周産期連携病院からの症例報告と意見交換、参加施設の現状報告と情報共有等を実施した。 また、多くのブロックにおいて、会議において講演を併せて実施する・別途研修の機会を設ける等により、ブロックにおける周産期医療従事者の対応力向上を図る取組を行っている。 なお、平成30年度から開始した「精神疾患を合併する妊産婦への対応」は1施設、令和2年度から開始した「災害対応」は7施設で研修会や講演等を実施した。
○ 連携リスト：各ブロックの中核病院が中心となり、地域の連携リストの更新を行った。
○ オープンシステム・セミオープンシステムの運営について、2施設に委託した。

	ブロック	所在地域	周産期母子医療センター等の配置	開始年月	幹事病院	連携会議		研修会・その他の取組
						日付	テーマ・内容	
1	区中央部	千代田区 中央区 港区 文京区 台東区	【総合周産期母子医療センター】 ★愛育病院(港区) 東京大学医学部附属病院(文京区) 東京慈恵会医科大学附属病院(港区) 【地域周産期母子医療センター】 聖路加国際病院(中央区) 順天堂大学医学部附属順天堂医院(文京区) 東京科学大学病院 (文京区) 【周産期連携病院】 日本医科大学付属病院(文京区)	平成22年 2月	愛育 病院	令和7年2 月27日	○開催方法：対面開催 ○出席者：病院14名(6施設)、診療所3名(3施設)、助産所2名(2施設)、 その他3名(1施設)、愛育病院20名 ○内容 ・区中央部ブロックにおける現状 ・東京都の周産期医療体制 ・症例報告	○J-MELSベーシックコース 日 程：令和6年10月6日 (参加者34名) ○周産期女性の健康にかかわる研修 日 程：令和6年12月4日 (参加者20名・熊本地震から学ぶNICUの災害対策) 日 程：令和7年1月16日 (参加者33名・生殖医療と女性の こころと体の支援) ○ブロック内周産期医療機関リスト改定・配布
2	区南部	品川区 大田区	【総合周産期母子医療センター】 ★東邦大学医療センター大森病院(大田区) ★昭和医科大学病院(品川区)	平成23年 11月	東邦大学 医療セン ター大森 病院	令和7年3 月7日	○開催方法：対面開催 ○出席者：病院9名(5施設)、診療所0名(0施設)、その他17名(3施設)、 東邦大学医療センター大森病院27名 ○内容 ・区南部周産期ネットワークグループ研修会 ・NCPR今後の展開と医療機能の現状	○J-CIMELS (日本母体救命システム普及協議会) ベーシックコース 日 程：令和6年12月8日 ○研修会 (新生児蘇生法) 日 程：令和6年5月19日、6月30日、9月24日、11月17日、 11月26日、1月28日、3月16日 ○セミオープンシステムの情報共有ブック作成 ○連携リストの更新 (分娩、妊婦健診取扱施設へ配布)
3	区西南部	目黒区 世田谷区 渋谷区	【総合周産期母子医療センター】 ★日本赤十字社医療センター(渋谷区) 国立成育医療研究センター(世田谷区) 【周産期連携病院】 国立病院機構東京医療センター(目黒区)	平成20年 8月	日赤 医療セン ター	令和7年3 月7日	○開催方法：WEB・対面のハイブリット開催 ○出席者：病院18名(5施設)、診療所9名 (9施設)、助産所0名 (0施設)、 その他3名 (1施設) ○内容 ・話題提供 東京都の周産期システム、災害時の周産期医療体制、硬膜外麻酔分娩の現状と安全管理	○開業助産師オープンシステム連絡会 助産ケアの実績報告、産後ケア・連携における課題、意見交換、日赤医療センターにおける産後ケア(宿泊型)の現状と育児支援、日赤医療センターにおける硬膜外麻酔併用分娩について ○連携医療機関紹介資料(ハンドブック)の継続配布 ○「マタニティダイアリー」による分娩方針や母乳育児の理念等の理解や関心を高めるなどの連携機能の充実 ○J-MELS研修 (全4回)
4	区西部	新宿区 中野区 杉並区	【総合周産期母子医療センター】 ★東京女子医科大学病院(新宿区) 【地域周産期母子医療センター】 慶応義塾大学病院(新宿区) 東京医科大学病院(新宿区) 国立国際医療センター(新宿区)	平成22年 5月	東京女子 医大 病院	令和6年6 月13日	《第28階東京都周産期医療ネットワーク区西部ブロック連携会議》 ○開催方法：WEB開催 ○出席者：病院24名(13施設)、診療所0名(0施設)、助産所0名(0施設)、 その他3名(1施設)、女子医大病院16名 ○内容 ・症例提示：妊娠28週に子宮破裂を発症した子宮底部横切開による既往帝王切開術 後妊娠の一例 ・教育講演：周産期地域連携～平時において大規模災害被災時を俯瞰する～	
						令和6年 11月14日	《第29階東京都周産期医療ネットワーク区西部ブロック連携会議》 ○開催方法：WEB開催 ○出席者：病院21名(22施設)、診療所0名(0施設)、助産所3名(2施設)、 その他3名(2施設)、女子医大病院10名 ○内容 ・症例提示：当院への搬送症例の振り返り ・教育講演：東京女子医科大学病院の周産期医療について	
5	区西北部	豊島区 北区 板橋区 練馬区	【総合周産期母子医療センター】 ★日本大学医学部附属板橋病院(板橋区) 帝京大学医学部附属病院(板橋区) 都立大塚病院(豊島区) 【周産期連携病院】 東京北医療センター(北区) 都立豊島病院(板橋区) 順天堂大学医学部附属練馬病院(練馬区)	平成20年 12月	日大 板橋病院	令和6年 10月31日	《連携会議産科部会》 ○開催方法：対面開催 ○出席者：病院14名(8施設)、診療所1名(1施設)、助産所3名(3施設)、 その他4名(2施設)、院内出席者34名 ○連携会議 ・東京都における周産期医療体制について ・実績報告 ・講演：乳児の呼吸器感染症の予防の重要性～RSウイルス感染症や百日咳を中心に～ ・講演：妊婦へのワクチン接種～最新のトピックス	○新生児蘇生法講習会の実施 ○連携リストの調査・配布更新
						令和7年3 月6日	《連携会議小児科部会》 ○開催方法：対面開催 ○出席者：病院4名(4施設)、診療所3名(3施設)、助産所2名(2施設)、 その他3名(2施設)、日大板橋24名 ○連携会議 ・東京都における周産期医療体制について ・講演：RSウイルス感染症-予防へのパラダイムシフト ・講演：本邦における先天性トキソプラズマ症の実態 ・講演：マイクロアレイ染色体検査による希少疾患の発見	
6	区東北部	荒川区 足立区 葛飾区	【地域周産期母子医療センター】 ★東京女子医科大学附属足立医療センター(足立区) 東京かつしか赤十字医療センター(葛飾区) 【周産期連携病院】 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター(葛飾区)	平成24年 12月	足立医療 センター	令和7年2 月18日	○開催方法：WEB開催 ○出席者：病院14名(5施設)、診療所3名(3施設)、助産所1名(1施設)、 その他5名(3施設)、足立医療センター15名 ○内容 ・症例報告：広汎子宮頸部摘出後妊娠に対し経陰超音波断層法を用い子宮頸管長 評価を施行した一例 ・症例報告：当院4年間で経験した脳室周囲白質軟化症事例の産科的背景の検討 ・症例報告：下垂体機能低下症妊婦に対して無痛分娩を施行した一例 ・演題：第3回 区東北部における災害時の周産期医療対策～今後の災害対策につ いて～	○連携リストの作成・配布
7	区東部	墨田区 江東区 江戸川区	【総合周産期母子医療センター】 ★都立墨東病院(墨田区) 【地域周産期母子医療センター】 賛育会病院(墨田区) 昭和医科大学江東豊洲病院(江東区)	平成22年 11月	墨東病院	令和6年5 月22日	○開催方法：WEB・対面のハイブリット開催 ○出席者：病院34名(6施設)、診療所9名(8施設)、助産所1名(1施設)、 その他6名(3施設)、墨東病院19名 ○内容 ・令和5年度周産期実績報告 ・産科救急に関する症例報告 ・災害対策について	○新生児蘇生法(NCPR)講習会A(専門コース) 日 程：令和6年10月5日(参加者10名) ○新生児蘇生法(NCPR)講習会S(スキルアップコース) 日 程：令和7年1月18日(参加者6名)
						令和6年 11月27日	○開催方法：WEB・対面のハイブリット開催 ○出席者：病院29名(5施設)、診療所17名(12施設)、助産所1名(1施設)、 その他4名(1施設)、墨東病院27名 ○内容 ・無痛分娩に関する報告 ・災害対策について	
8	多摩	多摩地域	【総合周産期母子医療センター】 ★杏林大学医学部付属病院(三鷹市) 都立多摩総合・小児総合医療センター(府中市) 【地域周産期母子医療センター】 町田市民病院(町田市) 武蔵野赤十字病院(武蔵野市) 公立昭和病院(小平市) 【周産期連携病院】 共済立川病院(立川市) 市立青梅総合医療センター(青梅市) 日本医科大学多摩永山病院(多摩市) 東京慈恵会医科大学附属第三病院(狛江市)	平成21年 12月	杏林	令和7年3 月3日	《多摩地域周産期医療ネットワークグループ検討会》 ○開催方法：WEB開催 ○出席者：病院29名(15施設)、助産所1名(1施設)、その他5名(2施設)、杏林大学 病院8名 ○内容 ・各グループの活動報告 ・東京都における無痛分娩の助成について	○多摩地域の産婦人科施設医療機関連携リスト(第9版) を作成し、各地域医療機関及び助産所へ配布
						令和7年3 月14日	《セミオープンシステム連絡会》 ○開催方法：WEB開催 ○出席者：病院1名(1施設)、診療所13名(13施設)、杏林大学病院14名 ○内容 ・講演：先天性サイトメガロウイルス感染症について ・産後ケアセンターの開設について ・新PEACE入力のお願ひ ・来年度の産科が依頼体制について ・セミオープン施設からの質問への回答	

	ブロック	所在地域		周産期母子医療センター等の配置	開始年月	幹事病院	連携会議		研修会・その他の取組
							日付	テーマ・内容	
9	多摩	サブグループ	西多摩	《西多摩》 ★市立青梅総合医療センター(青梅市)	平成22年2月	市立青梅総合医療センター	令和7年2月27日	○開催方法：対面開催、WEB開催併用 ○出席者：病院3名(3施設)、診療所3名(3施設)、助産所2名(1施設)、その他1名(1施設)、市立青梅総合医療センター6名 ○内容 ・各施設の現状報告 ・東京都における周産期医療体制について ・当院産婦人科の現状報告 ・当院小児科の現状報告 ・小児RSウイルス感染症について ・母体に対するRSウイルスワクチンについて	
10			南多摩(町田を除く)	《南多摩(町田市除く)》 ★日本医科大学多摩永山病院(多摩市) 東海大学医学部附属八王子病院(八王子市) 稲城市立病院(稲城市) 日野市立病院(日野市)	平成22年2月	多摩永山	令和7年3月17日	≪第23回南多摩エリア周産期医療ネットワークグループ検討会及び第61回多摩産婦人科病診連携懇談会 ○開催方法：WEB開催 ○出席者：病院10名(8施設)、診療所4名(5施設)、その他1名(1施設)、多摩永山病院13名 ○内容 ・各施設における病診連携の現状 ・講演：婦人科がん関連 最新の重要どころ総ざらい ～1次施設の先生方にも知っていて頂きたいこと～	○基幹病院の機能情報を集約し、会議ごとに資料を配布
11			町田	《南多摩(町田市)》 ★町田市民病院(町田市)	平成22年2月	町田市民病院	令和7年1月21日	○開催方法：WEB開催 ○出席者：診療所6名(4施設)、助産所1名(1施設)、その他4名(1施設)、町田市民病院34名 ○内容 ・2024年産科統計 ・NICU報告 ・前回と今回の妊娠時にB群連鎖球菌スクリーニングが陰性であった母体から出生した新生児B群連鎖球菌髄膜炎の一例 ・周産期母子感染	
12			北多摩西部	《北多摩西部》 ★共済立川病院(立川市)	平成22年2月	共済立川病院	令和7年2月20日	○開催方法：対面開催 ○出席者：病院5名(4施設)、診療所3名(3施設)、助産所1名(1施設)、その他1名(1施設)、立川病院8名 ○内容 ・各施設の近況報告 ・講演：周産期と災害対応	○連携リストを適宜更新、配布
13			北多摩南部	《北多摩南部》 ★武蔵野赤十字病院(武蔵野市) 東京慈恵会医科大学附属第三病院(狛江市)	平成22年2月	武蔵野赤十字病院	令和7年1月16日	○開催方法：WEB開催 ○出席者：病院3名(3施設)、診療所4名(4施設)、助産所0名(0施設)、その他5名(1施設)、武蔵野赤十字病院22名 ○内容 ・年次報告 ・講演：RSウイルス感染症の新たな予防戦略	○スーパー母体救命等の搬送症例の振り返りカンファレンスを搬送元施設と共に実施(11回) ○精神科医療機関との連携に関する事業 ○災害時の周産期医療体制構築に係る事業 ○SNSアンケートによる地域情報の収集
14			北多摩北部	《北多摩北部》 ★公立昭和病院(小平市)	平成22年3月	公立昭和病院	令和7年3月12日	○開催方法：WEB・対面のハイブリット開催 ○出席者：病院2名(1施設)、診療所9名(4施設)、助産所4名(3施設)、その他5名(3施設)、公立昭和病院10名 ○内容 ・東京都における周産期医療について ・分娩・母体搬送の現状について ・NICU・GCUの現状について ・講演：周産期と血栓症	○連携リストを適宜更新
15	オープン・セミオープンシステムの運営			東京大学医学部附属病院	平成27年7月	東大病院	令和7年2月20日	○開催方法：WEB・対面のハイブリット開催 ○出席者：病院7名(2施設)、診療所21名(19施設) 東京大学医学部附属病院6名 ○内容 ・当院小児外科、小児循環器科からの患者紹介のお願い ・当院における面会につきまして ・東大病院初診時の問診票につきまして ・母体投与のRSワクチン「アブリスボ」について	
16				東京かつしか赤十字母子医療センター	平成27年7月	東京かつしか日赤	令和6年7月24日、令和7年1月28日	【母子日赤医療連携フォーラム】(連携助産院研究会、医療連携フォーラム) ○開催方法：WEB・対面のハイブリット開催 ○出席者：診療所12名(11施設)、助産所6名(6施設)、かつしか日赤22名 ○内容：若年妊娠の同行と当院における対応 妊娠中の梅毒感染の現状 無痛分娩は少子化対策になるのか？	○連携助産院研究会 日程：令和6年7月24日(参加者23人) 内容：母子間輸血症候群 早期新生児期に起こりやすい異常と連携タイミング～小児科医の立場から～ 日程：令和7年1月26日(参加者18人) 内容：周産期メンタルヘルス 妊娠中～産後まで切れ目のない看護 古くて新しい産科救急